



野木小だより

平成29年2月17日

— 第12号 —

野木町立野木小学校長

江田 裕之

第2回学校評価結果がまとまりました！①

夢や希望を持てる教育活動を通して、子どもたちや保護者、地域の皆様、教職員の幸せな時間づくりを応援します。

これは、本校が掲げた新たなビジョンです。夢や希望いっぱいの教育活動、自分や友達の良さを見つけられる空間づくり、多くの方との触れ合いを通してビジョンに迫れるように努力をしてきました。その取組状況を、子どもたちの姿をもとに評価していただきました。

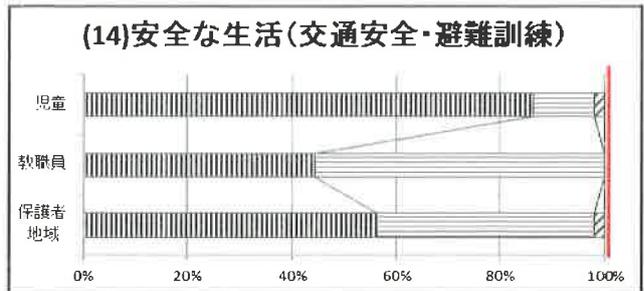
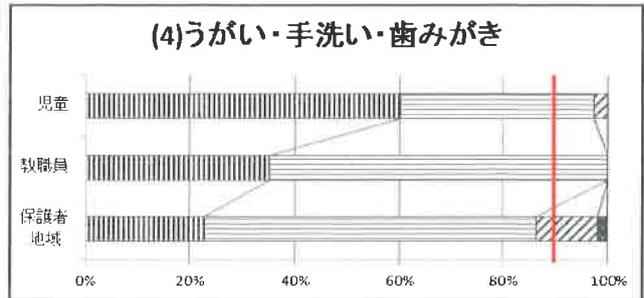
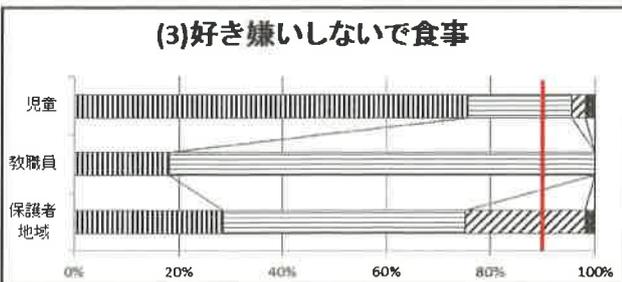
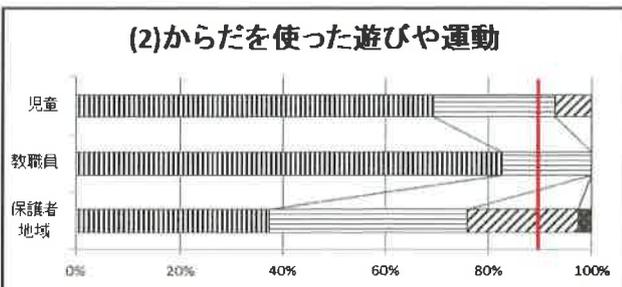
本校は、年2回の学校評価を実施しています。グランドデザインに示した、「行動しよう」(体)、「見つけよう」(徳)、「深めよう」(知)、「つながろう」(連携)の4つの努力点の中から項目を絞り、数値指標を定めています。「児童」「保護者・地域の皆様」「教職員」の回答を概要として以下のようにまとめました。



(注) 赤の縦線は、児童アンケートにおける指標

【努力点1】 「行動しよう」

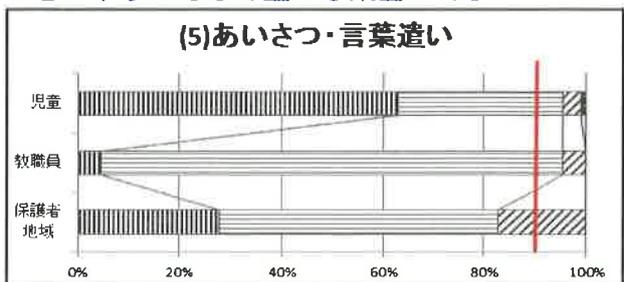
心身ともに健康でたくましい子どもの育成

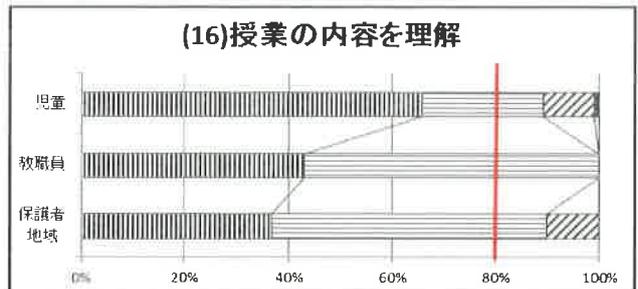
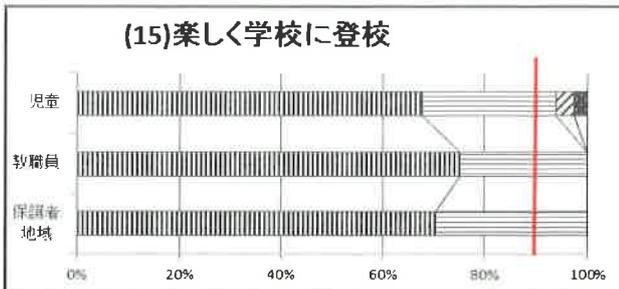
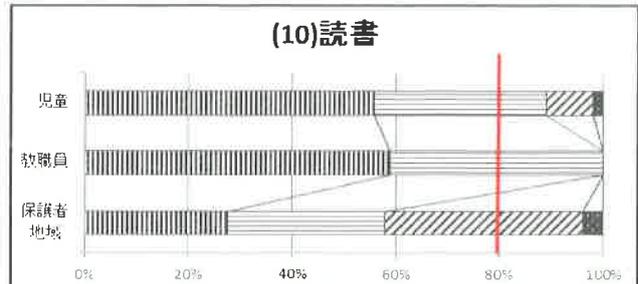
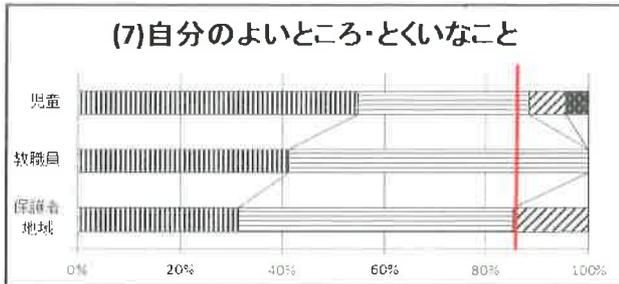
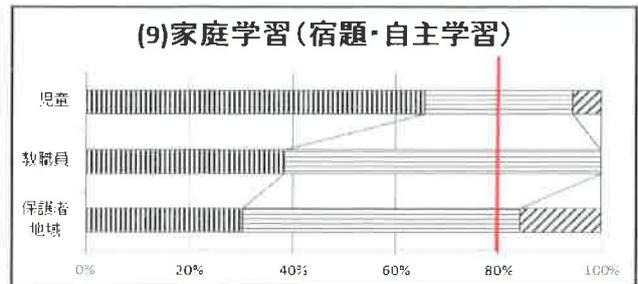
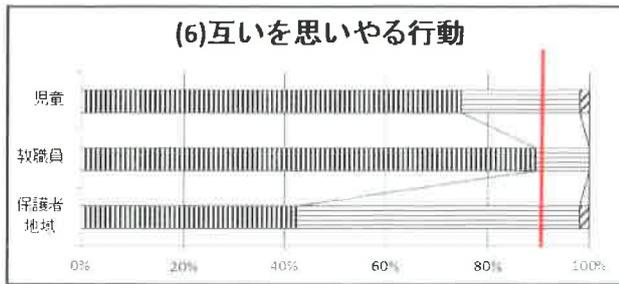


4項目とも指標を達成し、おおむね良い状態です。新しい遊具を設置していただき、朝の活動や体育の時間に利用し遊びの種類が広がっています。月に1度「残さず食べようの日」を設定し、無理のない範囲で実施してきました。全学年で、新橋小栄養教諭の岩崎先生に食育の授業を実施していただき、食に関する意識は少しずつ高まりつつあります。また、今年度全学年で始まった「親子給食」は好評でした。次年度も引き続き実施する予定です。日常的な健康に対する意識は高く、感染症の予防、広がり防止に努めることができます。現在、「欠席0の日」は86日となりました。改めて保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

【努力点2】 「見つけよう」

思いやりのある心豊かな集団づくり

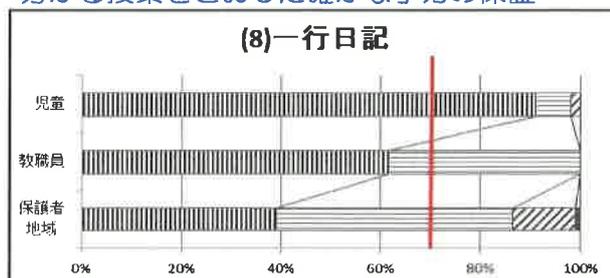




4項目とも指標を達成しおおむね良い状態です。自分や友達の良いところを見つけること、思いやりを教育活動の中心に据えて取り組んできました。児童は、縦割り班の活動により、上学年に対しあこがれを抱き、下学年に対しいたわりの気持ちを抱き、同学年に対しライバル心や友情の気持ちを抱きながら成長を遂げています。縦割り班の活動を、授業や学校行事、考える朝会などに位置付け機会を増やしてきました。すべての児童が、学校に来るのを楽しみにし、笑顔で生活できることこそビジョンに掲げる「幸せな時間」につながると確信しています。

【努力点3】 「深めよう」

分かる授業をととした確かな学力の保証



4項目とも指標をほぼ達成しおおむねよい状態です。学力向上に対する取り組みは、3年間の経年比較からも肯定的な回答が増えてきています。

「授業は学校の生命線」です。すべての児童が分かる、できる喜びを実感し、自信につながるような授業づくりを今後も続けていきます。連絡帳に「1行日記」を記入する取組を始めました。今日1日頑張ったこと、授業のこと、友達のこと、学校行事のことなど、学年ごとにテーマを決め、それぞれの思いを自分の言葉で書き添えています。保護者の温かなコメントが寄せられるなど



家庭とのつながりを実感できています。朝の読書やボランティアさんによる読み聞かせなどにより、読書活動は円滑に推進できています。一方で、保護者や地域の皆様の回答を見ると、様々な要因から本に親しめていない状況にあることがうかがえます。次年度の課題とし、具体策を検討します。